事業番号	10 02 18	事業改善シート(25年度実施事業分)	口予算要	東求	口当初予算案	〖 □補正予	算案 I	■点検
事業名	1	言州フォレストコンダクター育成事業		Ī	部局	林務部		
尹 未 乜	(森林づくり県民税活用事業)			担 ————————————————————————————————————	課·室	信州の木活	用課	
<b>₩</b> ∧ = <i>I</i> , <i>E</i>	プロジェクト 2-3-6農山村産業クラスター形成プロジェクト			課			oref.nagano.lg.jp	
総合5か年 計画	施策の総合的展開	1-4 森林を活かす力強い林業・木材産業づくり						
П	旭水り松白り皮併	1 林業再生の実現	5		実施期間	H25	$\sim$	H27

## 1 事業の概要

目指す姿

信州の森林づくりアクションプランによる平成32年度素材生産75万㎡を実現し、また「信州F・POWERプロジェクト」の稼働に向けて、県産材の安定供給体制を確立する。同時に、木材生産現場での効率化とコスト削減を進め、木材の有利な販売による利益を、森林に還元させ、持続的な森林資源の活用体制を構築する。

目標:平成32年度の県内の素材生産量 75万㎡

現状

○現在、適切な手入れが行われずに森林が荒廃し、県民の安全・安心な生活環境への影響が懸念され、地球規模の環境保全への貢献にも支障をきたす状況にある。とりわけ、所有規模が零細な民有林にあっては、施業の集約化を進め、計画的に木材生産を進める必要がある。また、材価の低迷により収益性が悪化しており、森林資源の保続を確保するため、作業の効率化とコスト削減を進める必要がある。ただし、これまでの不安定で小規模な木材生産に起因する市場性の弱さを解決せずに、生産を拡大させることは、過剰供給等の新たな

県が関与 する理由 県でなければ実施不可(その他)

【左記の説明、根拠法令等】 長野県森林づくり県民税活用事業

県民との協働による実施:検討中

① 成果目標(H25)

○長期的な視点に立った持続的な森林経営ができ、地域林業・山村のけん引役となる人材を育成する 具体的には、拡大する生産量と需要とを結びつける新たな市場の開拓や、適正な生産調整を行うことで、収益を確保し、地域の森林 資源への再投資を可能にできる人材として、 平成25年度フォレストコンダクター10人を育成する。(H27までに30人を育成)

② 事業内容

(単位:千円)

事	業	内	容

4	/ 事来r1年 (十匹· 11)							
	項目	実施方法	H25事業実績		H25		H26	
	<b>模</b> 目	<b>天旭刀伝</b>	TZ5爭未关順	(当初)	(決算)	(当初)		
	集合研修	直接	森林組合や林業事業体の中核的な職員 として地域をけん引できる者に対して研修	1,000	901	974		
	個別研修	委託	地域における具体的な課題への取組み に関する研修計画等を公募し、選定のうえ 施	3,300	3,285	3,300		
	フォレストコンダクター連携会議	直接			_		206	
				合計	4,300	4,186	4,480	

	Σ	<u> </u>	分(単位:千円)	23年度	24年度	25年度	26年度
	]		前年度繰越				
	予告		当初予算			4,300	4,480
事	予算額		補正予算				
業	1,0		合計(A)	0	0	4,300	4,480
*			国庫支出金				
⊐	Aσ.	)	県 債				
7	財派	亰	その他(繰入金)			4,300	4,480
ス			一般財源	0	0	0	0
7	決	1	算 額(B)			4,186	
	概		職員数(人)			0.20	0.20
	人作	‡費	概算人件費 (C)	0	0	1,652	1,652
	概算	事	業費(B(A)+C)	0	0	5,838	6,132

成果目標の達成状況								
項目	H24末 (実績)		H26					
供日		目標	成果	達成状況	目標			
フォレストコンダクター育成数	-	10人	10	達成	20人			

目標に対 する成果 の状況

達成

意欲ある事業体から積極的な参加が認められた。

## 2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのよう
にしていき
たいか

□ 事業を実施しない
□ 事業を見直して実施
■ 事業を現行どおり実施

事業を現行どおり実施

事業を現行どおり実施

事業を現行どおり実施

事業を現行どおりまた

「□ 事業を実施しない
□ 事業を見直して実施
■ 事業を現行どおり実施

「□ 事業を実施しない
□ 事業を実施しない
□ 事業を見直して実施
□ 事業を現行どおり実施
□ 事業を実施しない
□ 事業を実施しない
□ 事業を見直して実施
■ 事業を現行どおり実施